

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成26年7月15日

【四半期会計期間】 第30期第1四半期(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

【会社名】 ローツェ株式会社

【英訳名】 RORZE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 崎谷文雄

【本店の所在の場所】 広島県福山市神辺町字道上1588番地の2

【電話番号】 (084)960 - 0001(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 岩瀬好啓

【最寄りの連絡場所】 広島県福山市神辺町字道上1588番地の2

【電話番号】 (084)960 - 0001(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 岩瀬好啓

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第29期 第1四半期 連結累計期間	第30期 第1四半期 連結累計期間	第29期
	自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日	自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日	自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日
売上高 (千円)	2,338,004	2,241,005	14,166,717
経常利益 (千円)	155,298	13,973	1,049,837
四半期(当期)純利益 (千円)	120,785	70,688	403,651
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	474,044	263,593	1,937,211
純資産額 (千円)	8,575,941	9,826,181	10,193,974
総資産額 (千円)	16,518,388	18,251,519	18,266,143
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	7.18	4.10	23.78
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	7.11	4.09	23.58
自己資本比率 (%)	43.3	43.9	45.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和策などにより緩やかな景気回復の動きが見られましたが、一方で消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響が見られるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大、4Kテレビの普及に向けた動きなどから、半導体の微細化に伴う新規設備投資や、高精細化が進む液晶パネルの生産に必要な設備投資の増加が見込まれておりますが、当四半期においては、これまで継続的に行われてきた台湾の半導体設備投資に調整局面が見られました。

このような状況の中で当社グループは、台湾の主要取引先向けウエハソータやE F E Mなどのウエハ搬送装置の受注及び販売が、受注時期や納入時期の見直し・変更等により前年に比べて減少したこと、加えて韓国子会社における中国向けのディスプレイ製造装置の新規納入が一段落し、ガラス基板搬送装置の売上高が減少したことなどにより、連結売上高が前年同期に比べて減少しました。

損益面につきましては、売上高の減少や新規開発を伴う装置の受注増加によるコスト増などから営業損失となりましたが、為替差益や少数株主損失などの影響により最終利益は黒字となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,241百万円(前年同期比4.1%減)、営業損失57百万円(前年同期は営業利益184百万円)、経常利益13百万円(前年同期比91.0%減)、四半期純利益70百万円(前年同期比41.5%減)となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し、18,251百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,216百万円、受取手形及び売掛金の減少1,237百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、8,425百万円となりました。これは主に、借入金の増加109百万円及び賞与引当金の増加61百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ367百万円減少し、9,826百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少198百万円及び少数株主持分の減少161百万円によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、61百万円であります。なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,280,000
計	35,280,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年7月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,640,000	17,640,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	17,640,000	17,640,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年5月31日		17,640,000		982,775		1,127,755

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成26年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式 (自己株式等)			
議決権制限株式 (その他)			
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 422,300		
完全議決権株式 (その他)	普通株式 17,216,100	172,161	
単元未満株式	普通株式 1,600		
発行済株式総数	17,640,000		
総株主の議決権		172,161	

【自己株式等】

平成26年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ローツェ株式会社	広島県福山市神辺町字道 上1588番地の2	422,300		422,300	2.39
計		422,300		422,300	2.39

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,342,065	4,558,247
受取手形及び売掛金	4,046,125	2,808,452
商品及び製品	389,774	492,013
仕掛品	2,057,771	2,045,166
原材料及び貯蔵品	1,330,829	1,393,230
繰延税金資産	210,808	248,224
その他	236,518	235,645
貸倒引当金	67,367	51,795
<b>流動資産合計</b>	<b>11,546,526</b>	<b>11,729,185</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	2,538,841	2,462,266
土地	2,476,706	2,460,482
その他（純額）	795,398	822,273
<b>有形固定資産合計</b>	<b>5,810,946</b>	<b>5,745,022</b>
無形固定資産	201,277	186,328
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	235,504	240,207
その他	488,619	367,465
貸倒引当金	16,731	16,690
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>707,392</b>	<b>590,981</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>6,719,616</b>	<b>6,522,333</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,266,143</b>	<b>18,251,519</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369,931	1,012,429
短期借入金	2,978,434	2,977,468
未払法人税等	276,269	177,791
賞与引当金	35,144	97,116
役員賞与引当金		1,500
製品保証引当金	337,172	323,540
その他	653,011	1,305,700
流動負債合計	5,649,962	5,895,546
固定負債		
長期借入金	1,808,145	1,918,422
繰延税金負債	117,804	95,045
退職給付引当金	102,864	118,498
役員退職慰労引当金	367,896	372,975
資産除去債務	24,426	23,973
その他	1,068	876
固定負債合計	2,422,206	2,529,792
負債合計	8,072,168	8,425,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,166,749	1,168,207
利益剰余金	6,225,965	6,210,566
自己株式	62,885	60,503
株主資本合計	8,312,604	8,301,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,852	46,420
為替換算調整勘定	142,702	341,132
その他の包括利益累計額合計	100,849	294,712
新株予約権	4,758	3,660
少数株主持分	1,977,461	1,816,188
純資産合計	10,193,974	9,826,181
負債純資産合計	18,266,143	18,251,519



## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	2,338,004	2,241,005
売上原価	1,630,416	1,737,499
売上総利益	707,588	503,506
販売費及び一般管理費	522,848	560,665
営業利益又は営業損失( )	184,739	57,159
営業外収益		
受取利息	4,845	4,201
為替差益	-	58,969
売電収入	-	20,956
補助金収入	1,837	-
デリバティブ利益	-	3,176
その他	1,989	6,078
営業外収益合計	8,672	93,382
営業外費用		
支払利息	9,086	8,641
為替差損	27,507	-
売電費用	-	10,972
その他	1,518	2,634
営業外費用合計	38,112	22,249
経常利益	155,298	13,973
特別利益		
新株予約権戻入益	-	122
特別利益合計	-	122
特別損失		
有形固定資産除却損	103	41
特別損失合計	103	41
税金等調整前四半期純利益	155,195	14,054
法人税、住民税及び事業税	146,294	111,309
法人税等調整額	98,194	94,191
法人税等合計	48,100	17,117
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	107,094	3,063
少数株主損失( )	13,690	73,752
四半期純利益	120,785	70,688

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	107,094	3,063
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6,081	4,567
為替換算調整勘定	360,867	265,097
その他の包括利益合計	366,949	260,530
四半期包括利益	474,044	263,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,171	126,393
少数株主に係る四半期包括利益	48,872	137,199

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
受取手形	千円	8,546千円
支払手形	千円	88,677千円
流動負債「その他」(設備関係支払手形)	千円	861千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
減価償却費	78,936千円	93,735千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月30日 定時株主総会	普通株式	50,464	3	平成25年2月28日	平成25年5月31日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	86,088	5	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

当社グループは、半導体業界や液晶業界における無塵化対応搬送装置の開発・製造・販売を行う「半導体・液晶関連装置事業」と、精密シャフトモータ等に使用する磁石の製造・販売を行う「磁石事業」を報告セグメントとしておりますが、「磁石事業」の割合が低く、情報開示としての重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	7円18銭	4円10銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	120,785	70,688
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	120,785	70,688
普通株式の期中平均株式数(株)	16,831,511	17,222,076
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	7円11銭	4円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	149,345	41,363
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年7月14日

ローツェ株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	柴田良智
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中原晃生

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているローツェ株式会社の平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ローツェ株式会社及び連結子会社の平成26年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。